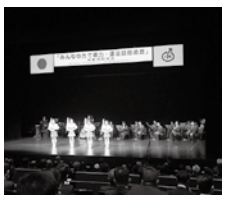
昭和39年８月27日第３種郵便物認可　（旬刊・毎月１、11、21日３回発行）　© 京都自動車新聞社 2022年　購読料（６カ月）11,000円（税込み）

2022年（令和４年）
12月 1日 木曜日
第1900号

京都自動車新聞



城南支部 支部研修委員会の設置検討 2
第23回 全日本整備技能コン 5
京自販・自販連京都 代表者会議 6
ＡＰＩｔ京都 カー用品レポート12月号 7
◀暴力違法銃器追放府民大会 6

発行所　京都自動車新聞社　京都市伏見区竹田向代町 51-5（京都自動車会館内）　電話（075）672-0552　ファクス（075）682-0205　メール access@kyotojidosha-np.jp　https://kyotojidosha-np.jp

トラフェス３年ぶり開催

京ト協◇京青協　「社会と共生するトラ業界」発信

京都府トラック事業青年協議会（柏秀明会長）は11月23日、京都市伏見区の京都パルスプラザでトラックフェスタ2022を行った。トラックの日のイベントの一環で、３年ぶりの開催。トラックの展示や死角体験、クイズ大会などを通じてトラック運送の重要性とともに、社会と共生するトラック業界を発信した。（関連記事２面）

車両展示やクイズ大会など企画

あいさつする柏会長

柏会長が「子どもにトラックを見てもらい、業界のアピールを含め地域住民や運送業界で働いている方々にも楽しんでもらおうと企画。多くの企業にも車両展示やブース出展といった形でサポートしてもらっている。ブースではさまざまなゲームも行えるので、併せて楽しんでほしい」とあいさつ。

ステージイベントは仮面ライダーギーツショーをはじめ、アンバレエスタジオによるバレエ演舞、日本自動車連盟（JAF）がチャイルドシートの機能などを解説。京青協によるクイズ大会では、子どもたちは写真紹介されるトラックの種類を元気よく答えていた。

働くトラックとして、ポールトレーラー、ユニック車、温度調節車を展示。運転席への試乗体験も行い、トラックの魅力を知ってもらったほか、会場内に設けられた6カ所のチェックポイントを回るデジタルスタンプラリーは、貨物トラックやユニック車などと共に、観光バスやタクシーといった事業用車両をイラストで紹介しており、スマートフォン（スマホ）片手に歩き回る家族連れが多く見られた。

追跡データベース ―東京商工リサーチ編―

倒産数、増勢強まる

9月 コロナ破綻は最多更新

9月の負債額1000万円以上の全国企業倒産件数は、前年同月比18・6％増の599件と6カ月連続で前年を上回った。対前月でも3カ月ぶりに増加に転じ、増勢を強めている。このうち京都は19件。東京商工リサーチが公表した。

総数のうち、中小企業の倒産は598件で、従業員10人未満が全体の86・6％を占めた。産業別では、サービス業が202件と、引き続き10カテゴリー中最多で推移し、前年同月比では3カ月ぶりに増。建設業、製造業、卸売業、農・林・漁・鉱業、小売業は増加し、情報通信業、不動産業、運輸業は減少に転じた。金融・保険業は低減状況を保った。

一方、20年2月以降に起こったコロナ関連の経営破綻は、11月18日現在で4742件（負債1000万円未満も含む）に上った。京都は前月から5件増え97件。22年に入り、コロナ破綻の増加トレンドは、前年に比べるとやや鳴りを潜めていたものの、ここにきて一気に警戒感が顕在化、10月は最多件数を再び更新した。

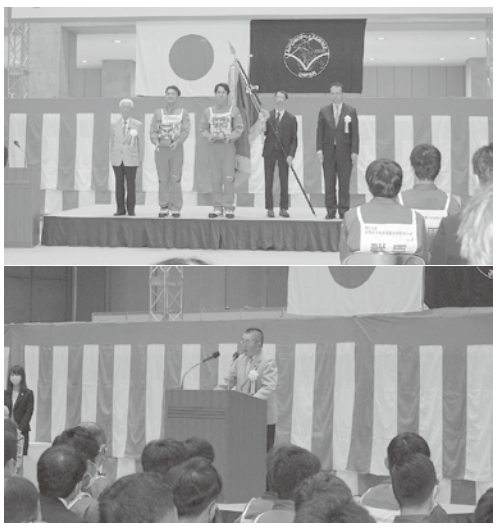
業種別では、飲食業が突出し、建設業、アパレル製造・販売、飲食料品卸売業、宿泊業の4業種がこれに続く状況は変わらない。

いよいよコロナ関連融資の返済が本格化する。ところが、資金繰り支援の副作用として生じた過剰債務問題の解決策を見いだせずにいるケースは少なくない。コロナ破綻リスクはこれまで以上に高まっている。

産業	倒産件数	
	9月	前年同月比（増率）
農・林・漁・鉱業	12	300.0%
建設業	130	27.45%
製造業	58	13.72%
卸売業	78	20.0%
小売業	67	39.58%
金融・保険業	2	▲60.0%
不動産業	14	▲22.22%
運輸業	18	▲14.28%
情報通信業	18	▲10.0%
サービス業ほか	202	17.44%
合計	599	18.61%

新潟整振チームが優勝
第23回全日本整備技能大会
京都は入賞に一歩及ばず

第23回全日本自動車整備技能競技大会が11月26日、東京ビッグサイトで開催され、要所を手堅くまとめた新潟県自動車整備振興会の石田俊行・久保仁チームが、平均点722・6点というロースコア対決を見事制し、栄冠に輝いた。京都の西浦宏和（西浦和モータ）・石田和仁（新和自動車）チームは、全国の精鋭たち相手に善戦したものの一歩及ばず、上位入賞にはわずかに届かなかった。（5面に関連記事）



全日本自動車整備技能競技大会は、実車（700点）・基礎（100点）・アドバイザー（200点）の3競技の合計点数を競う全国大会で、今大会には地方大会を勝ち抜いた45チームが出場、紫紺の優勝旗をめぐり、しのぎを削った。上位入賞チームと得点は以下。

▽優勝＝新潟・880点▽準優勝＝静岡・865点▽第3位＝千葉・856点▽第4位＝神奈川・852点▽第5位＝鹿児島・848点▽第6位＝兵庫・840点▽第7位＝香川・838点▽第8位＝埼玉・828点▽

年内業務28日まで年明けは4日から
京都運輸支局・軽検査協会

京都運輸支局および京都南検査場、自動車技術総合機構京都事務所と京都南事務所、軽自動車検査協会京都事務所は29日から1月3日まで閉庁する。いずれも年明けは同月4日から平常通り。

【京都運輸支局（南検査場含む）、自動車技術総合機構京都事務所・京都南事務所】

検査関係業務▽検査予約の受付（年内受検分）＝28日まで▽持込検査＝28日まで（4日以降は事前予約が必要）▽指定整備＝28日まで▽改造・並行輸入車・新規検査等の事前届出書類の受付（年内受検分）＝13日まで（14日以降の提出分は年内処理不可）

登録関係業務＝28日まで。

一般業務＝28日まで。

【軽自動車検査協会 京都事務所】

▽一般業務＝28日まで▽改造等申請の受付＝14日まで。

レンタカー・代車のことなら なんでもご相談ください
トヨタレンタリース京都
予約センター
(075) 315-7320 年中無休